

第2期生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について
生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、令和2年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		現況		目標		2年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況															
		年度	数値	年度	数値																			
1 長寿社会を豊かに生きる生涯学習																								
(1)	「自分にはよいところがあるとおもいますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒割合	28	小 76.3% 中 69.8%	毎年度	前回調査を上回る	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>項目</th> <th>年度</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> <tr> <td>全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合</td> <td>R2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>81.6%</td> <td>74.8%</td> </tr> </table>	項目	年度	小学校	中学校	全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	R2	—	—		R1	81.6%	74.8%	教育委員会	その他				
	項目	年度	小学校	中学校																				
全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	R2	—	—																					
	R1	81.6%	74.8%																					
	公立小、中、高等学校におけるスクールソーシャルワーカー（SSW）及びスクールカウンセラー（SC）の配置人数	28	SSW：36人 SC：556人	毎年度	増加	<p style="text-align: center;">(単位:人)</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>年度</th> <th>SSW</th> <th>SC</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>81</td> <td>516</td> <td>597</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>68</td> <td>529</td> <td>597</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>13</td> <td>△ 13</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>SSW:13名増 SC:13名減 計：増減なし</p> <p>県では各市町村に対して、小中学校にSSWの配置促進を図るための補助制度を実施し、年々SSWを配置する市町村は増加している。SCについては、全校配置をしているが、今後も、教育相談体制の一層の充実を図るため、国からの財政支援が拡充されるよう、働きかけを継続していく必要がある。 高等学校においては、中退防止や貧困等の家庭問題等に対応し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、引き続き適切な配置に努めていく必要がある。</p>	年度	SSW	SC	計	R2	81	516	597	R1	68	529	597	増減	13	△ 13	0	教育委員会	×
年度	SSW	SC	計																					
R2	81	516	597																					
R1	68	529	597																					
増減	13	△ 13	0																					
(2)	健康的な生活習慣を送る者の増加	28	63.2% (40～64歳)	R4	80%以上	<p style="text-align: center;">-</p> <p>(次回調査は令和3年度)</p>	平成28年度の調査から「健康的な生活習慣を送っていると思う者」の割合を年齢区分別に見ると、他の年代に比べ20～64歳の「働く世代」の割合が低い状況であることから、働く世代向けに健康づくりに関する情報発信の工夫や、健康づくりに取り組みやすい環境整備を、関係機関と連携しながら引き続き推進していくことが必要である。	保健医療局	その他															
(3)	愛知芸術文化センター（栄施設）の年間来館者数	28	215万人	毎年度	200万人	<p>約50万人 (約171万人) 美術館の展覧会 の中止、貸館（美術 館ギャラリー、芸 術劇場等）の利用 キャンセルが相次 いだことにより休 館（4/25～6/1） し、再開後も入場 制限を行った。</p>	美術館、芸術劇場を有する複合施設であり、愛知県における文化施策を展開する拠点施設として、芸術創造・文化情報発信の強化や、多様な鑑賞機会及び文化芸術活動場所の提供を通じて、利用者のサービスの向上を図る。 また、業界ガイドライン「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」及び「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいて、感染症対策を行うなど、利用者が安心・安全に利用できる環境を提供し、来館者の増加に努める。	県民文化局	その他															

第2期生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、令和2年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		現況		目標		2年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
(4)	あいちシルバーカレッジの年間受講者数	29	600人	毎年度	630人	0人 (630人) 令和2年度は事業 を中止	高齢者が生涯を健康でかつ生きがいを持って社会活動に参加していただくことに役立つ学習内容を継続的に提供していくことが課題である。	福祉局	その他
2 家庭と地域の教育力を高める生涯学習									
(1)	相談活動により状況が好転した児童生徒数の割合	28	86.3%	毎年度	75%以上	77.1% (80.4%) 学校臨時休業中の 家庭訪問の取りや め、6月以降の時 間短縮など十分な 相談活動が行えな かった。	相談者の多くが重篤なケースであるため、対応する相談員への研修や相談員間での情報交換に努めるとともに、学校や関係機関と連携を図りながら、様々なケースに対応できるようにしていく必要がある。 また、更に本取組を広く周知して行く必要がある。 対面でなくても、リモートにより相談活動ができるようハード面の整備を進める必要がある。	教育委員会	○
(2)	地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るための研修会の参加人数	29	123人	毎年度	130人以上	0人 (131人) 令和2年度は研修 会を中止	参加者にとって有益な研修を継続的に実施し推進員等の資質向上を図るとともに、参加者を広く募り、地域と学校の連携・協働を推進する人材の発掘及び育成に努める必要がある。	教育委員会	その他
(3)	子ども・若者支援地域協議会を利用できる子ども・若者の割合	29	57.5%	毎年度	70%以上	68.0% (65.8%) 連絡会議、未設置 市町村向け研修 会、講演会等を中 止	地域資源や協議会の必要性への認識に差があることなど、協議会未設置市町村の状況は多様である。今後も、困難な状況を抱える子ども・若者に対する施策について、行政分野を越えた総合支援の重要性の理解を深め、各市町村が実情に応じて取り組めるように情報提供や支援を行い、協議会設置に向けて働きかけをしていく必要がある。	県民文化局	その他
(4)	家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合（1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけて食事をする人の割合）	27	77.4%	R2	80%以上	68.1% (71.7%(H30)) 外食を控え、誰かと 食事をともにする機 会が減少したことも 要因の一つであると 推測される。	ワークライフバランスの推進や、食を楽しむ時間を持つことの大切さのさらなる啓発を行い、県民が食を楽しむゆとりを確保できる環境づくりを継続的に行うことが必要である。	農業水産局	その他
3 持続可能な社会づくりを進める生涯学習									
(1)	ユネスコスクール交流会におけるアンケートで、交流会が参考になったと回答した人の割合	29	72.6%	毎年度	80%以上	90.6% (99.1%)	ユネスコスクール交流会の参加者数の増加を目指し、様々な方法で広く周知をしていきたい。また、ユネスコスクールの活動を活性化や各校でのESD活動の推進のために、管理職や各校のESD推進の要となる教員に対しての意識高揚を図り、ユネスコスクールの活動の周知・拡大を行う必要がある。	教育委員会	○
(2)	あいち環境塾（基礎コース）の参加人数	29	20人	毎年度	20人	12人 (20人) 参加人数を制限	多くの応募が得られるよう、効果的な広報を適切に行うとともに、参加者にとって魅力的な内容となるよう塾のカリキュラムを実施する必要がある。	環境局	その他
(3)	消防学校1日体験入校者数	29	1,257人	毎年度	1,500人程度	0人 (1,194人) 令和2年度は事業 を中止	防火作品募集などの各種行事を行い、引き続き少年消防クラブ活動への積極的な働きかけを通して、クラブへの入会を呼びかけていく必要がある。	防災安全局	その他

第2期生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、令和2年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		現況		目標		2年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
(3)	指導者向け消費者教育講座の受講者数	28	1,015人	毎年度	1,000人	1,012人 (1,466人)	引き続き目標を達成できるよう、関係機関と連携を図り、周知に努めていく必要がある。	県民文化局	○
(3)	あいち消費生活情報メールマガジンの登録件数	-	-	R1	1,500人	— (540人)	令和2年3月末をもって終了。 消費者にとっても必要な情報を、必要な時期に適切に提供していくにあたり、より機動的かつ伝わりやすいSNS (Facebook、Twitter) を活用している。	県民文化局	その他
(4)	人権啓発イベントの参加により、人権を尊重するきっかけとなったと思う人の割合	28	94.3%	毎年度	90%以上	96.57% (96.25%)	目標を達成することができたが、引き続き、多くの県民が参加し人権尊重への意識を啓発できるよう、イベントの周知を図る必要がある。	県民文化局	○
(5)	「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所数	29	40,185 事業所	毎年度	40,000 事業所	44,430事業所 (43,575事業所)	目標を達成しているものの、社会の意識醸成を図るため、更なる賛同事業所の増加を目指す必要がある。	労働局	○
(5)	管理的職業従事者に占める女性の割合	24	12.3%	R2	20%	13.5% (2017年度) (次回2022年度)	愛知県の「管理的職業従事者に占める女性の割合」は、全国平均より低い。これは、従業員の女子割合が低い製造業が主要産業であることが背景であると指摘されているが、製造業に限らず、あらゆる分野の産業が発展するためには、女性管理職の育成が今後も課題である。	県民文化局	その他
(6)	手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成数	28	33人、29 人、37人	毎年度	各40人	20人、0人、17人 (24人、12人、10人) 要約筆記者養成講習 会受講者の受講辞退 等があった。	障害の特性に応じたコミュニケーション手段を利用した意思疎通を支援する手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成に引き続き努める必要がある。	福祉局	その他
(7)	地域における初期日本語教育の実施	-	-	R4	3箇所	1箇所 [累計3箇所]	本事業をさらに広く展開するため、主催となる市町村への啓発や具体的な事業実施方法の提示、新規立ち上げ教室へのフォローアップが必要である。また、引き続き、初期日本語教育の指導者の育成と、これまで育成してきた人材のスキルとモチベーションの維持・向上のための研鑽の場の提供を行う必要がある。	県民文化局	○
(7)	初期の日本語指導や学校適応指導を行う教室(プレスクール)実施市町村数	29	16市町村	R4	増加	18市町村 (16市町村)	引き続きプレスクールの普及のため、市町村、NPO等の実施主体や指導員向けにプレスクールの意義等を伝える説明会を開催する。また2020年度から、市町村や市町の国際交流協会が実施するプレスクール事業等に対する補助制度を設けており、事業実施に向けた契機としていただけるよう働きかける必要がある。	県民文化局	○
(8)	技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの来場者数	26	289,000人	R1・R2	各年 200,000人	0人 (187,470人) 無観客で開催。 YouTubeで実況付 き競技中継をLIVE 配信。アクセス数 約25,000件	令和元年度、2年度に本県で開催された技能五輪全国大会・全国アビリンピックにより高まった技能への興味・関心を活かし、引き続き継続的な「技能尊重気運の醸成・発展」と「次世代のモノづくりを支える人材の創出」に向けて取り組む必要がある。	労働局	その他

第2期生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、令和2年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		現況		目標		2年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成状況
		年度	数値	年度	数値				
4 職業的自立を高める生涯学習									
(1)	全日制県立高等学校におけるインターンシップ等に参加した生徒数	28	17,323人	R2	18,000人	4,178人 (20,257人) 企業の受入れ中止が多くあった。	インターンシップ等のキャリア教育に関する体験活動に参加する生徒がより多くなるよう、各高等学校にキャリア教育コーディネーターの活用を呼びかける	教育委員会	その他
(2)	愛知県職業能力開発協会が行う訓練の受講生数	28	1,686人	毎年度	1,600人	708人 (1,465人) 講座の定員を減らしたり、講座を中止したりした。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、協会のHPや会員企業向けのメールマガジンで講習会実施の周知を行い、達成に努める。	労働局	その他
(3)	大学等高等教育機関における公開講座の開催数	28	2,965講座	毎年度	前年度を上回る	638講座 (2,527講座)	公開講座の開催は令和元年度に減少したが、引き続き公開講座の開催について、行政や大学等高等教育機関の意識啓発を行うなど働きかけを続けていく必要がある。	教育委員会	その他
5 生涯学習推進体制づくり									
(2)	生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページのアクセス件数	28	102,499件	毎年度	前年度を上回る	148,148件 (203,772件) 講座・イベントの中止や、参加者の自粛により情報検索の機会が減少したと思われる。	今後も引き続き、県民の高度化かつ多様化する学習ニーズに対応するため、常に魅力的な学習情報を提供するとともに、継続的に県民の関心を保ち続けることが課題である。	教育委員会	その他
(2)	生涯学習情報システム「学びネットあいち」新規登録情報提供機関数	28	20機関	毎年度	24機関	21機関 (10機関)	生涯学習情報の提供は県の重要な役割であることを再認識し、新たな情報提供機関の深耕に努めていく必要がある。	教育委員会	×
(3)	公民館主事等社会教育担当者研修会の参加者の満足度	29	94%	毎年度	95%以上	94% (99%)	参加者にとって、より有用な研修となるよう講座を工夫し、目標を達成できるよう努めていく。	教育委員会	×
(4)	地域指導者の養成数	28	208人	毎年度	前年度を上回る	93人 (271人) 愛知県青年講座、女性指導者研修会、地域コーディネーター研修会は中止。子育てネットワーク養成講座は4会場から2会場に変更	人材の養成は県の重要な役割の一つであり、社会の状況に応じて、必要な人材を養成するための研修を継続的に実施していく必要がある。 コロナ禍にあっても、オンラインを有効に活用し、研修会を実施できるよう努めていく。	教育委員会	その他

※ 達成状況の「その他」は、目標年度前の個別目標、あるいは、元年度以前に目標年度が到来した個別目標です。

新型コロナウイルス感染症による影響のあったもの15項目については「その他」で整理

「2年度の状況」欄を灰色に着色

達成	7
未達成	3
その他	18
計	28
達成率(その他除く)	70.0%